

1人1台端末を活用した実践交流及び 今後の単元における1人1台端末活用について

令和4年11月28日（月）
大分県教育庁佐伯教育事務所
後藤 竜太

0972-22-3011, gotou-ryuuta@oen.ed.jp

(1) 【説明】

単元や題材など、内容や時間のまとまりを見通した単元構想と端末活用

(2) 【協議】

1人1台端末を活用した実践交流

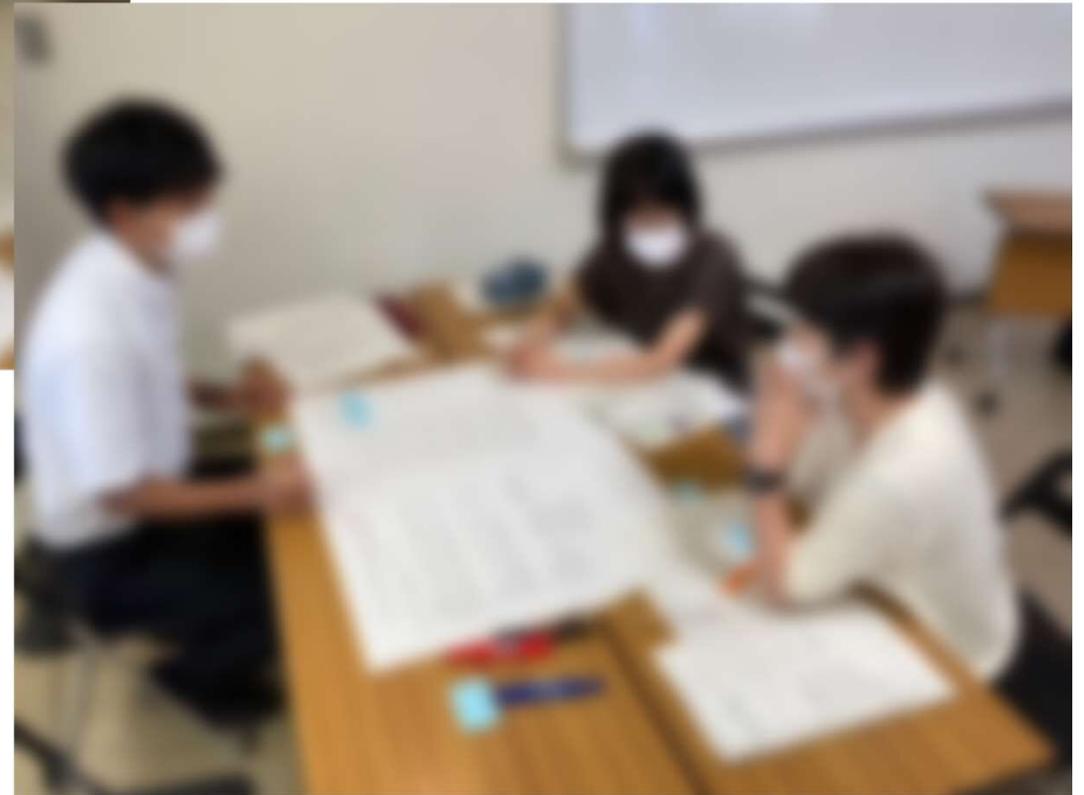
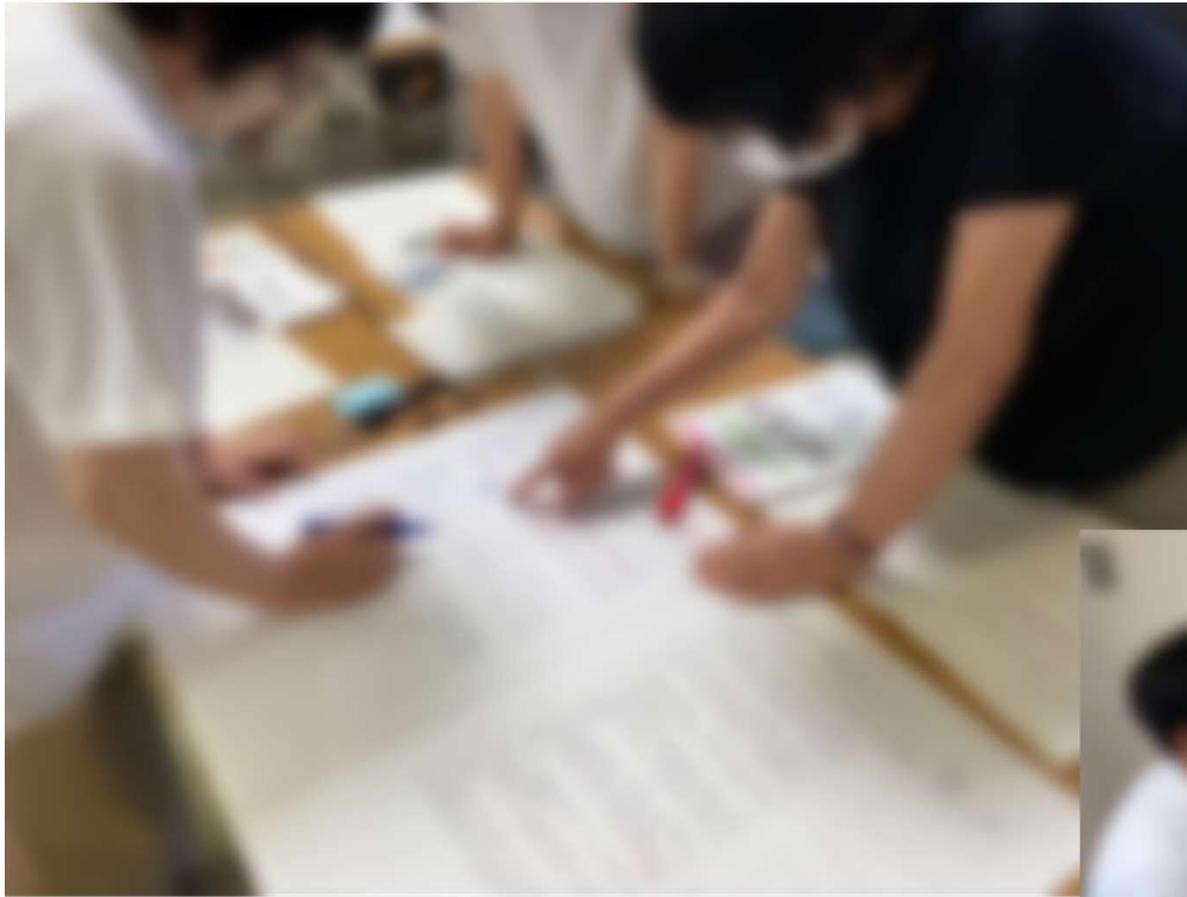




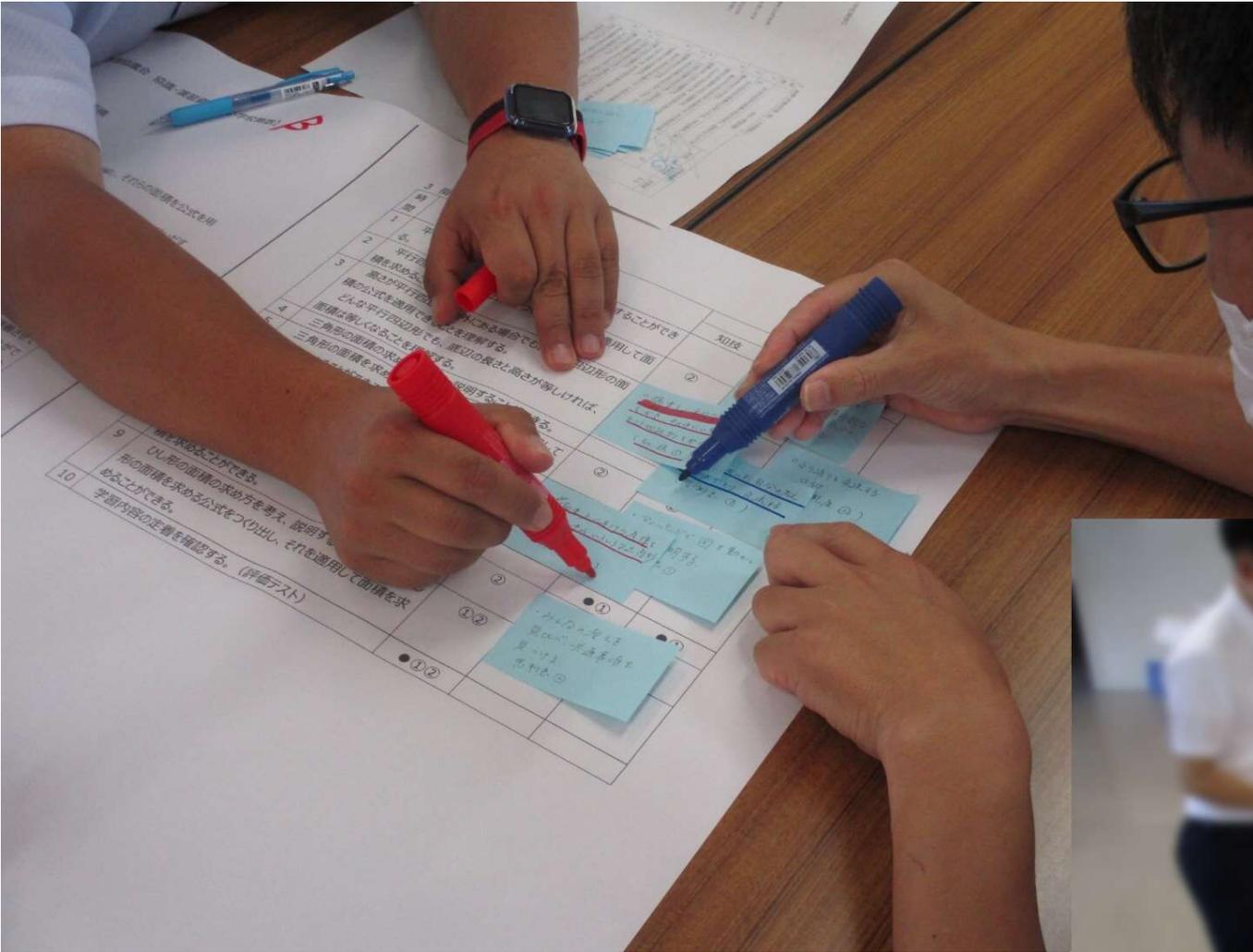
- ◇情報収集
(調べ学習、写真・動画)
 - ◇情報の蓄積・保存・繰り返し確認
 - ◇情報・考えの共有 (遠隔含む)
- など



- ◆資質・能力の育成
 - ◆単元や題材のまとまり
 - ◆比較・関連付け・多面的に見る等、思考力、判断力、表現力等の育成・発揮
- など



単元や題材など、内容や時間のまとまりを見通した単元構想と端末活用



令和4年度第2回地域授業改善協議会 協議の様子・成果物より

単元や題材など、内容や時間のまとまりを見通した単元構想と端末活用

令和4年度 第2回地域授業改善協議会 協議・演習資料【小学校算数】

単元名：四角形と三角形の面積
 内容のまとまり：第5学年「B 図形」(3) 平面図形の面積

1 単元の目標

- (1) 三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積の計算による求め方について理解し、それらの面積を公式を用いて求めることができる。
- (2) 図形を構成する要素などに着目して、求積可能な図形に帰着させ、基本図形の面積の求め方を見いだすとともに、その表現を振り返り、簡潔かつ確かな表現に高め、公式として導くことができる。
- (3) 求積可能な図形に帰着させて考えると面積を求めることができるというよさに気づき、三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積を求めようとして、見いだした求積方法や式表現を振り返り、簡潔かつ確かな表現に高めようとしている。



2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 必要な部分の長さを用いることで、三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積は計算によって求めることができることを理解している。	① 三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積の求め方を、求積可能な図形の面積の求め方を基に考えている。	① 求積可能な図形に帰着させて考えると面積を求めることができるというよさに気づき、三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積を求めようとしている。
② 三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積を、公式を用いて求めている。	② 見いだした求積方法や式表現を振り返り、簡潔かつ確かな表現を見いだしている。	② 見いだした求積方法や式表現を振り返り、簡潔かつ確かな表現に高めようとしている。

① 三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積の求め方を、求積可能な図形の面積の求め方を基に考えている。

① 求積可能な図形に帰着させて考えると面積を求めることができるというよさに気づき、三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積を求めようとしている。

3 指導と評価の計画 (例：10時間扱い)

時間	ねらい・学習活動	評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	平行四辺形の面積の求め方を考え、説明することができる。		①	①②
2	平行四辺形の面積の公式をつくり出し、それを適用して面積を求めることができる。	②	②	
3	高さが平行四辺形の外にある場合でも、平行四辺形の面積の公式を適用できることを理解する。	①	①	
4	三角形の面積の求め方を考え、説明することができる。			
5	三角形の面積を求める公式をつくり出し、それを適用して面積を求めることができる。	②	②	
6	高さが三角形の外にある場合でも、三角形の面積の公式を適用できることを理解する。	①	①	
7	台形の面積の求め方を考え、説明することができる。		●①	●①
8	台形の面積を求める公式をつくり出し、それを適用して面積を求めることができる。	②	●②	●②
9	ひし形の面積の求め方を考え、説明することができる。ひし形の面積を求める公式をつくり出し、それを適用して面積を求めることができる。	①②	①②	
10	学習内容の定着を確認する。(評価テスト)	●①②		

面積の求め方を端末上で表す。全体交流へ

様々な図形を求積してそれを基に求めて比較、振り返り

毎時間のまとまりの練習問題のカード活用

練習問題のカードを自分で選んで取組む

それぞれの面積の求め方を端末上でかく (1枚を撮影し、口以て共有する)

端末上で、複数の求め方を比較
 ↓
 公式の前に、子ども言葉でまとめる。

- ◆「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料（国立教育政策研究所）の事例に、端末活用目的・方法を入れ込んでみる（7/29第2回地域授業改善協議会での演習）



- ◆教科書を開き、端末活用目的・方法を付箋に書き込み貼り付けてみる

- ◆校内研修や学年会等において、端末活用の事例・成果・課題・子どもの成果物等を共有する

全てをICTに置き換えるわけではない

望ましくない事例

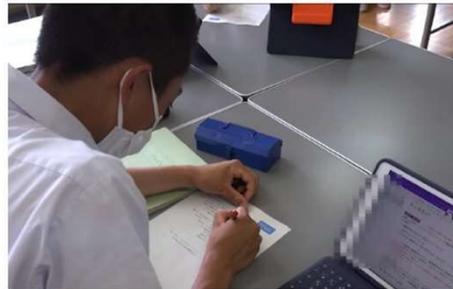
- ・ ICTを活用するようになって板書、ノート、図書館を使わなくなった
- ・ ICTを活用するようになって、子どもたちがコピー&ペーストを多用している

これまでもこれからも実践で大切にすべきこと

- ・ 板書、ノート、付箋等の利用
- ・ 図書館利用、インタビュー、見学
- ・ 調べたことを引用しながらも自分の言葉でまとめる習慣



これまでの実践と最適に組み合わせる



端末やノートに、図書館やインターネットから収集した情報を参照・引用しながら自分の言葉でまとめる



話し合いのひとつの材料として端末を役立たせる

思考・判断・表現に関わる活動の中でICTを使う

安易な共有



全員の考えを意図も
視点もなく一覽で共有



画面を見せ合うだけの
ペア・グループ

ICTを効果的に活用した共有になっていない



ICTを活用した効果的な共有

カードの色を指定することで
全員の考えの傾向を把握させる

(例)カードの色を変更する機能



考えの立場を把握

ふりかえりの視点を把握

視点を定めた話し合いに
するために共有するカードを
教師が選ぶ

(例)4つの考えを選び、全体に共有する機能



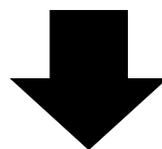
比較させたい考えを選択して提示する

共有のタイプを使い分ける

- ◆ **各教科等の時間における1人1台端末活用の事例を紹介し合う（課題の共有がポイント）**
- ◆ **教科等の特質に応じた1人1台端末活用のポイントを見いだす**

学年・教科	端末活用のポイント	端末活用における留意事項

◆ 児童生徒質問紙と学校質問紙の回答に
大きな隔たりがある項目



児童生徒の「端末使用感」と教師の「端末等活用感」の
ズレ・ギャップ

児童 (32)	5年生までに受けた授業で、P C・タブレットなどのI C T機器を、どの程度使用しましたか
学校 (59)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、一人一人に配備されたP C・タブレットなどのI C T機器を、授業でどの程度活用しましたか

児童質問紙

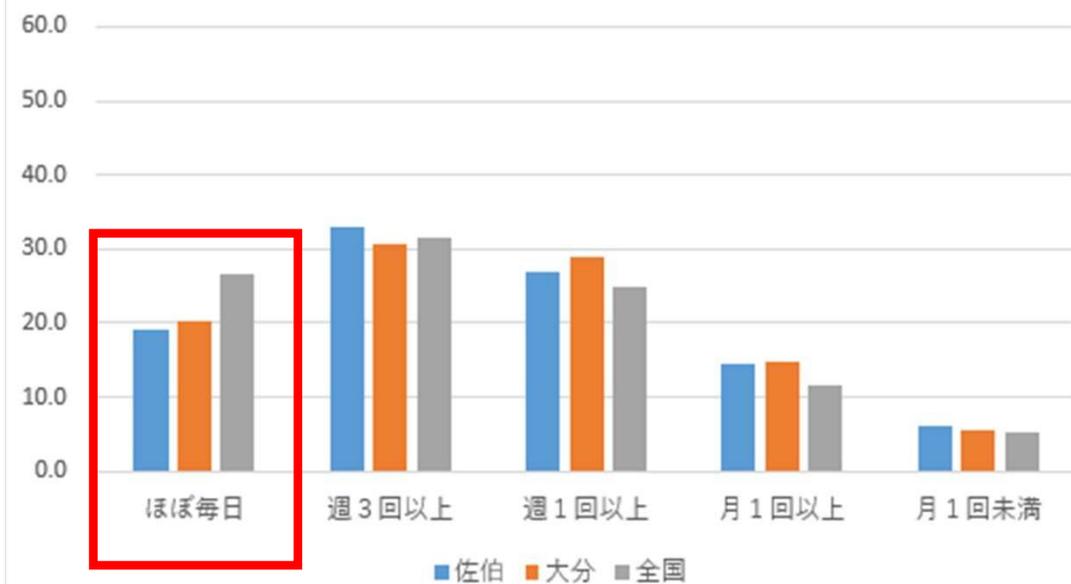
	佐伯	大分	全国
ほぼ毎日	19.1	20.2	26.7
週3回以上	33.1	30.6	31.5
週1回以上	27.0	28.8	25
月1回以上	14.6	14.8	11.5
月1回未満	6.2	5.5	5.1

学校質問紙

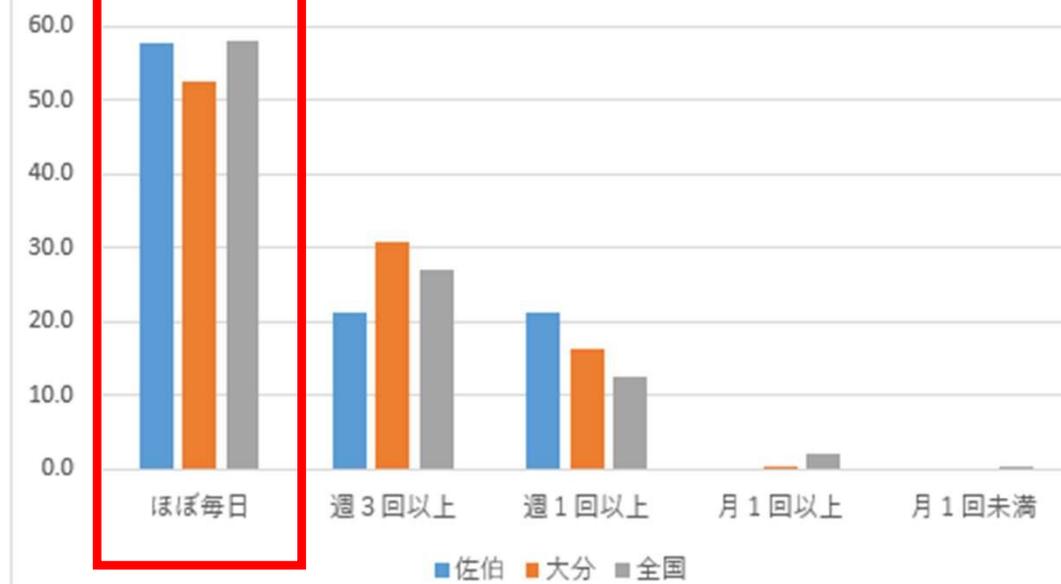
	佐伯	大分	全国
ほぼ毎日	57.9	52.5	58.2
週3回以上	21.1	30.7	26.9
週1回以上	21.1	16.4	12.6
月1回以上	0.0	0.4	2.1
月1回未満	0.0	0	0.1



児童質問紙



学校質問紙



小学校

児童 (33) 学校で、授業中に自分で調べる場面で、P C・タブレットなどのI C T機器を、どの程度使っていますか (インターネット検索など)

学校 (60) 調査対象学年の児童が自分で調べる場面 (ウェブブラウザによるインターネット検索等) では、児童一人一人に配備されたP C・タブレットなどのI C T機器をどの程度使用させていますか

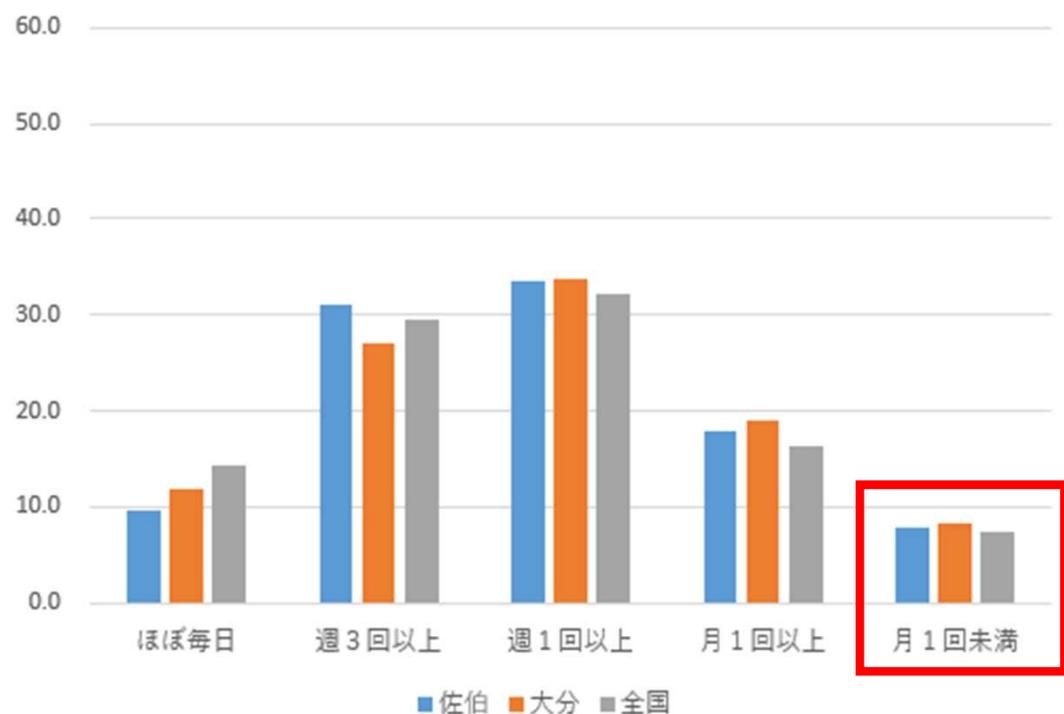
児童質問紙

	佐伯	大分	全国
ほぼ毎日	9.6	11.8	14.3
週3回以上	31.0	27	29.6
週1回以上	33.5	33.8	32.2
月1回以上	18.0	19.1	16.4
月1回未満	7.9	8.2	7.3

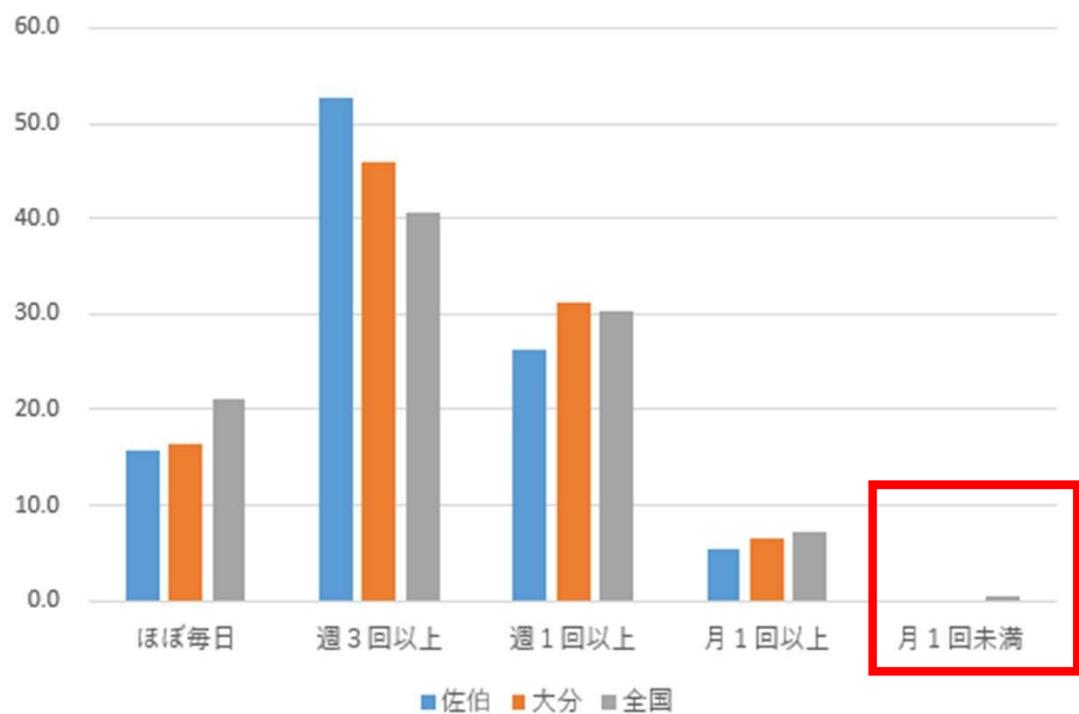
学校質問紙

	佐伯	大分	全国
ほぼ毎日	15.8	16.4	21.2
週3回以上	52.6	45.9	40.7
週1回以上	26.3	31.1	30.3
月1回以上	5.3	6.6	7.3
月1回未満	0.0	0	0.4

児童質問紙



学校質問紙



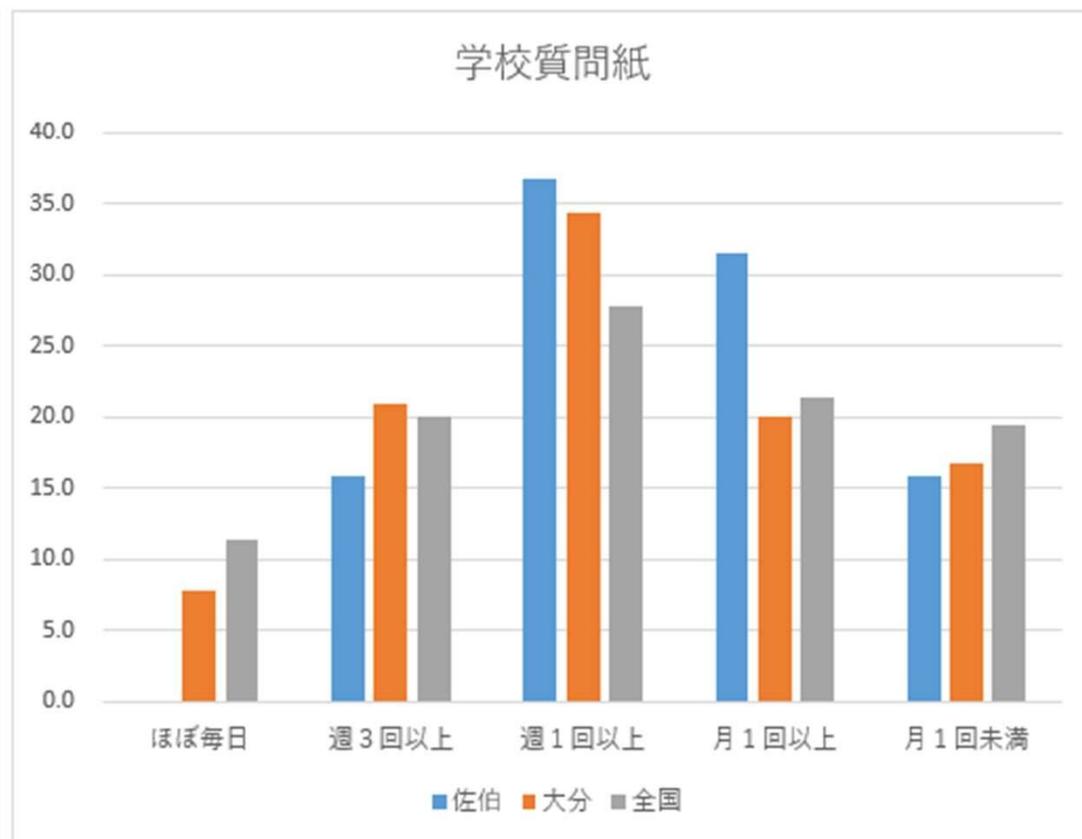
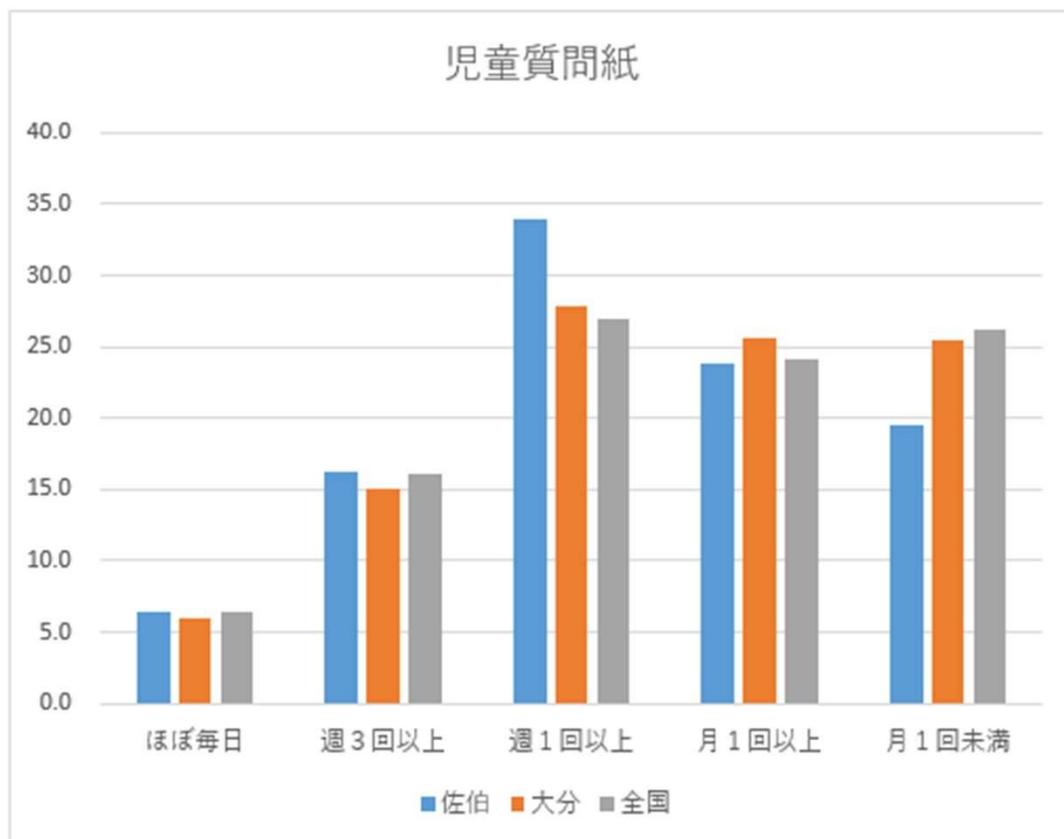
児童 (34)	学校で、学級の友達と意見を交換する場面で、P C・タブレットなどのI C T機器を、どの程度使っていますか
学校 (63)	調査対象学年の児童同士がやりとりする場面では、児童一人一人に配備されたP C・タブレットなどのI C T機器をどの程度使用させていますか

児童質問紙

	佐伯	大分	全国
ほぼ毎日	6.4	5.9	6.4
週3回以上	16.3	15.1	16.1
週1回以上	34.0	27.8	26.9
月1回以上	23.8	25.6	24.2
月1回未満	19.5	25.5	26.2

学校質問紙

	佐伯	大分	全国
ほぼ毎日	0.0	7.8	11.3
週3回以上	15.8	20.9	20
週1回以上	36.8	34.4	27.8
月1回以上	31.6	20.1	21.4
月1回未満	15.8	16.8	19.4



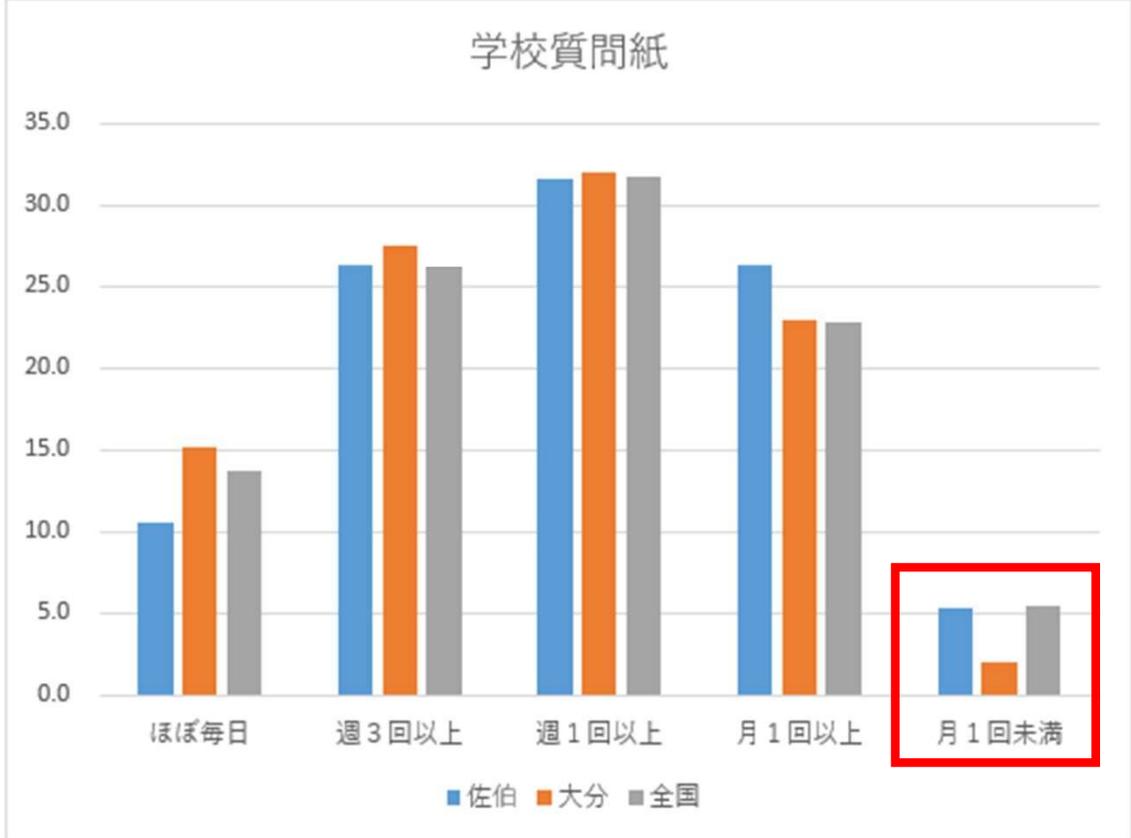
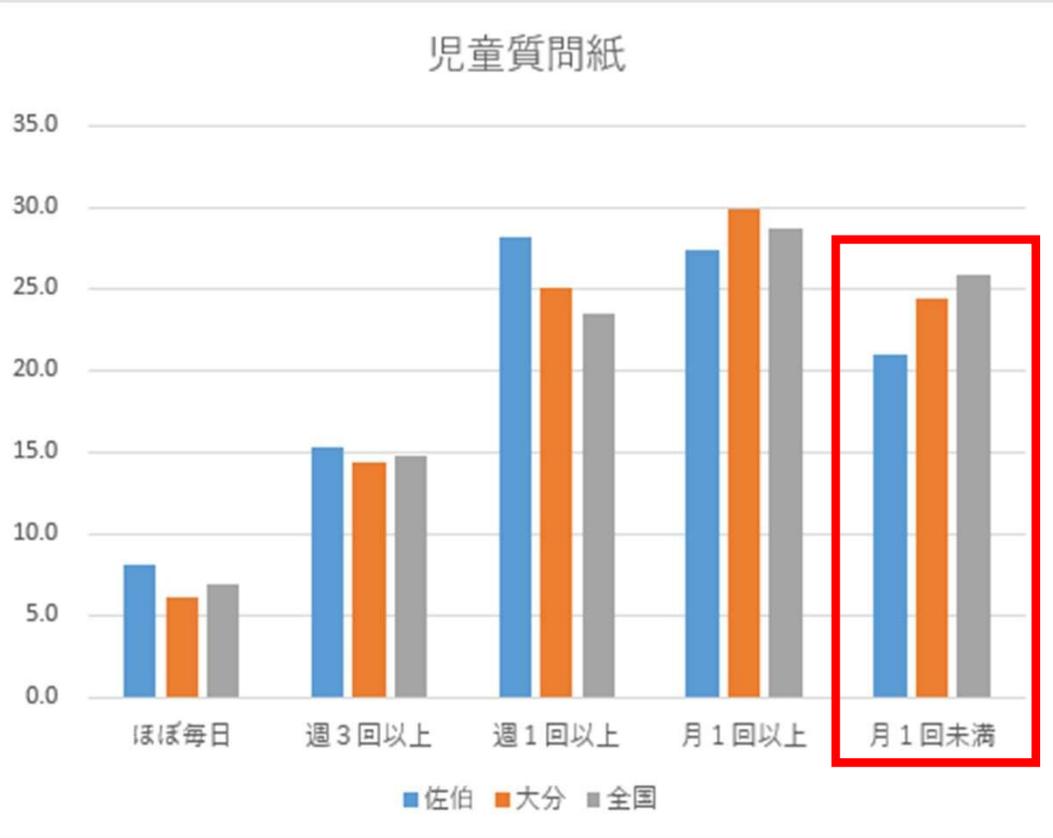
児童 (35)	学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、P C・タブレットなどのI C T機器を、どの程度使っていますか
学校 (61)	調査対象学年の児童が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、児童一人一人に配備されたP C・タブレットなどのI C T機器をどの程度使用させていますか

児童質問紙

	佐伯	大分	全国
ほぼ毎日	8.1	6.1	6.9
週3回以上	15.3	14.4	14.8
週1回以上	28.2	25.1	23.5
月1回以上	27.4	29.9	28.7
月1回未満	21.0	24.4	25.8

学校質問紙

	佐伯	大分	全国
ほぼ毎日	10.5	15.2	13.7
週3回以上	26.3	27.5	26.2
週1回以上	31.6	32	31.7
月1回以上	26.3	23	22.8
月1回未満	5.3	2	5.4



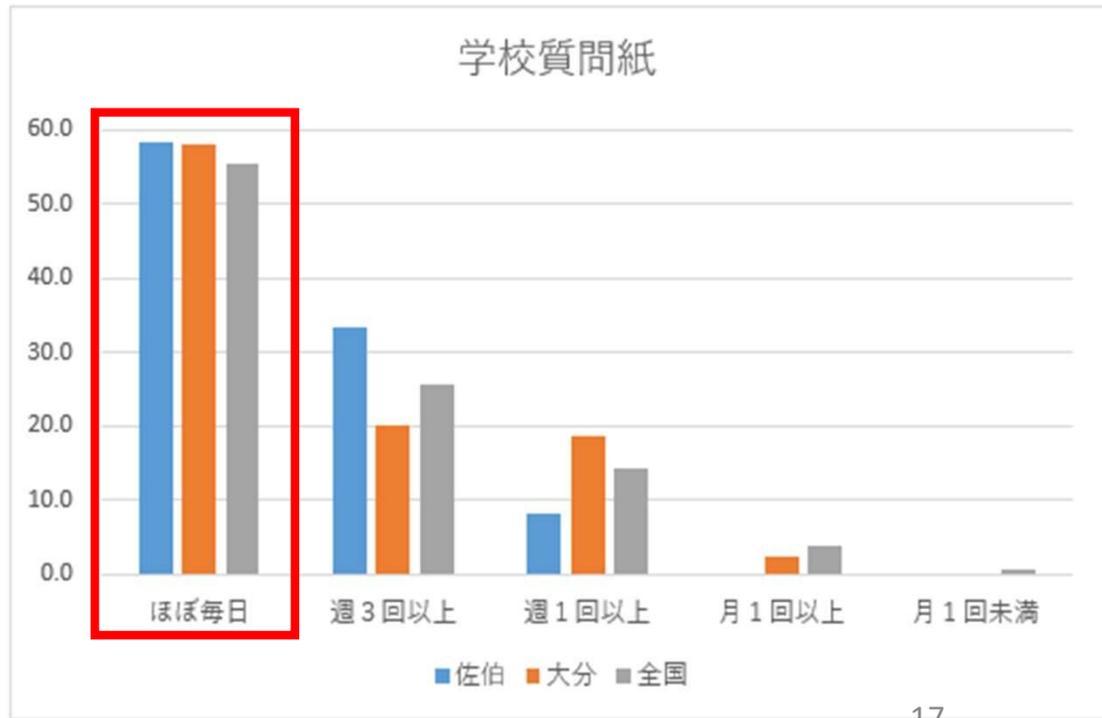
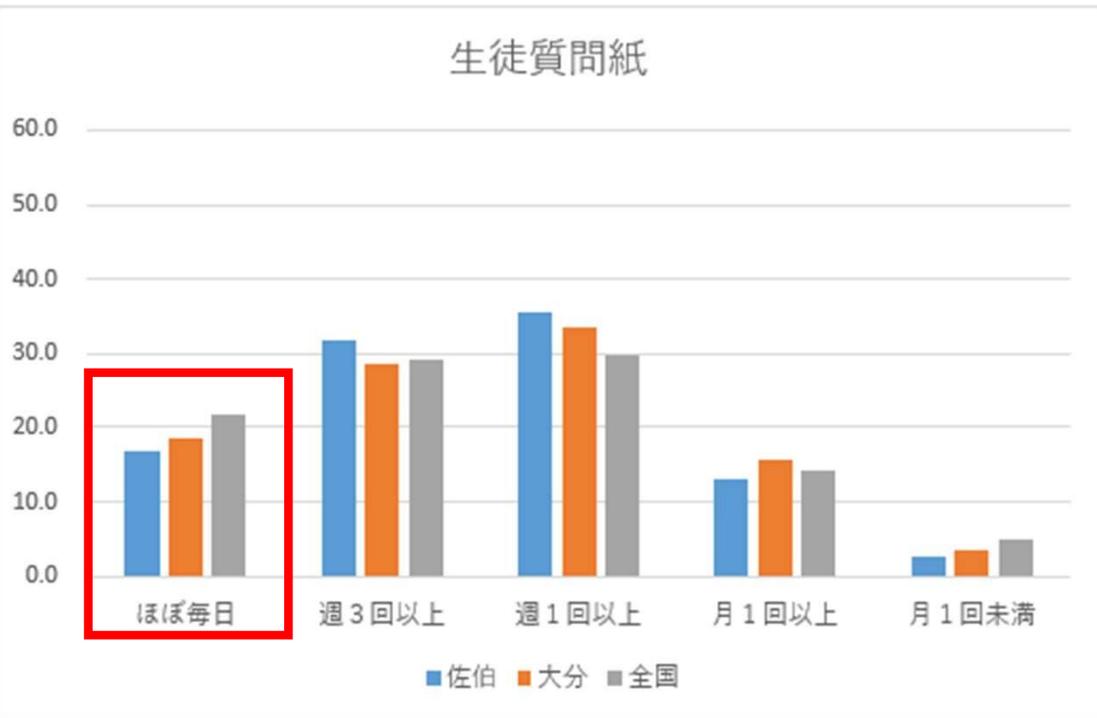
生徒 (32)	1, 2年生のときに受けた授業で, P C・タブレットなどの I C T 機器を, どの程度使用しましたか
学校 (57)	調査対象学年の生徒に対して, 前年度までに, 一人一人に配備された P C・タブレットなどの I C T 機器を, 授業でどの程度活用しましたか

生徒質問紙

	佐伯	大分	全国
ほぼ毎日	16.7	18.5	21.6
週3回以上	31.8	28.5	29.3
週1回以上	35.7	33.6	29.7
月1回以上	12.9	15.7	14.2
月1回未満	2.7	3.5	5

学校質問紙

	佐伯	大分	全国
ほぼ毎日	58.3	58	55.5
週3回以上	33.3	20.2	25.7
週1回以上	8.3	18.5	14.4
月1回以上	0.0	2.5	3.8
月1回未満	0.0	0	0.5



生徒 (33)	学校で、授業中に自分で調べる場面で、P C・タブレットなどのI C T機器を、どの程度使っていますか (インターネット検索など)
学校 (58)	調査対象学年の児童が自分で調べる場面 (ウェブブラウザによるインターネット検索等) では、児童一人一人に配備されたP C・タブレットなどのI C T機器をどの程度使用させていますか

中学校

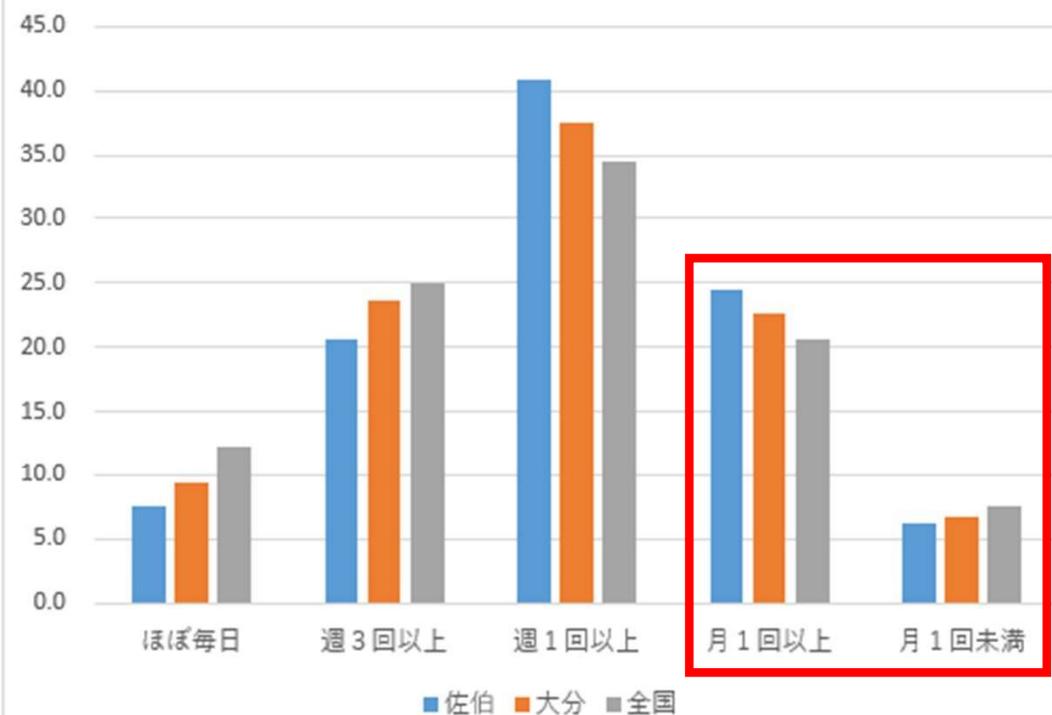
生徒質問紙

	佐伯	大分	全国
ほぼ毎日	7.6	9.4	12.3
週3回以上	20.6	23.6	24.9
週1回以上	40.8	37.6	34.5
月1回以上	24.5	22.6	20.6
月1回未満	6.3	6.8	7.6

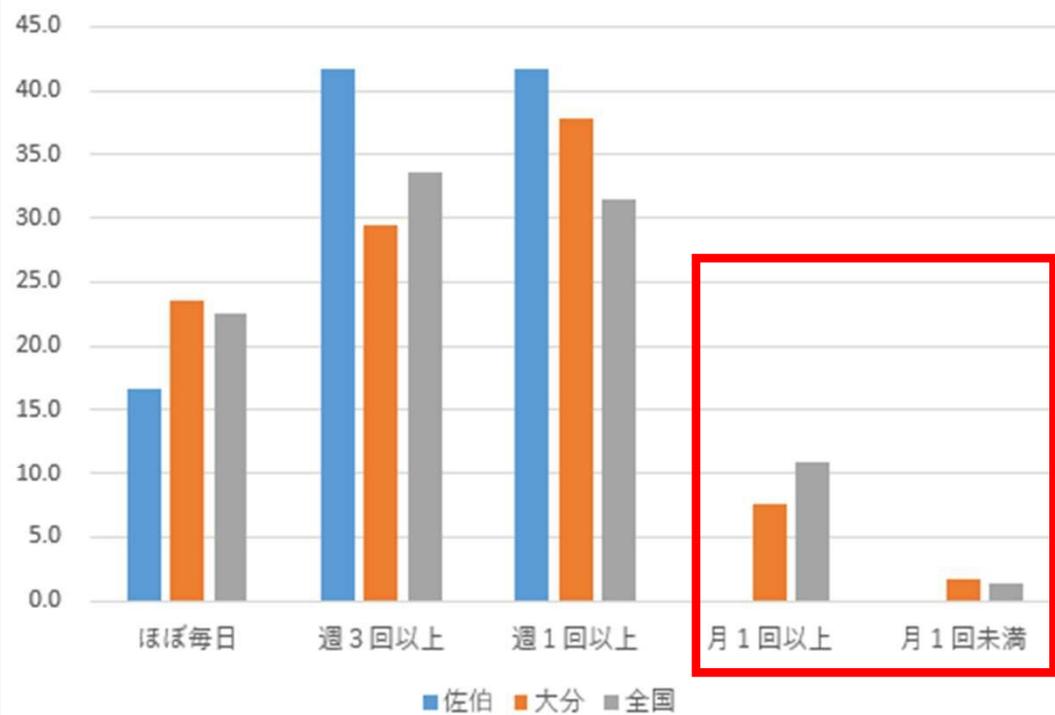
学校質問紙

	佐伯	大分	全国
ほぼ毎日	16.7	23.5	22.6
週3回以上	41.7	29.4	33.6
週1回以上	41.7	37.8	31.4
月1回以上	0.0	7.6	10.9
月1回未満	0.0	1.7	1.4

生徒質問紙



学校質問紙



生徒 (34)	学校で、学級の生徒と意見を交換する場面で、P C・タブレットなどのI C T機器を、どの程度使っていますか
学校 (61)	調査対象学年の生徒同士がやりとりする場面では、生徒一人一人に配備されたP C・タブレットなどのI C T機器をどの程度使用させていますか

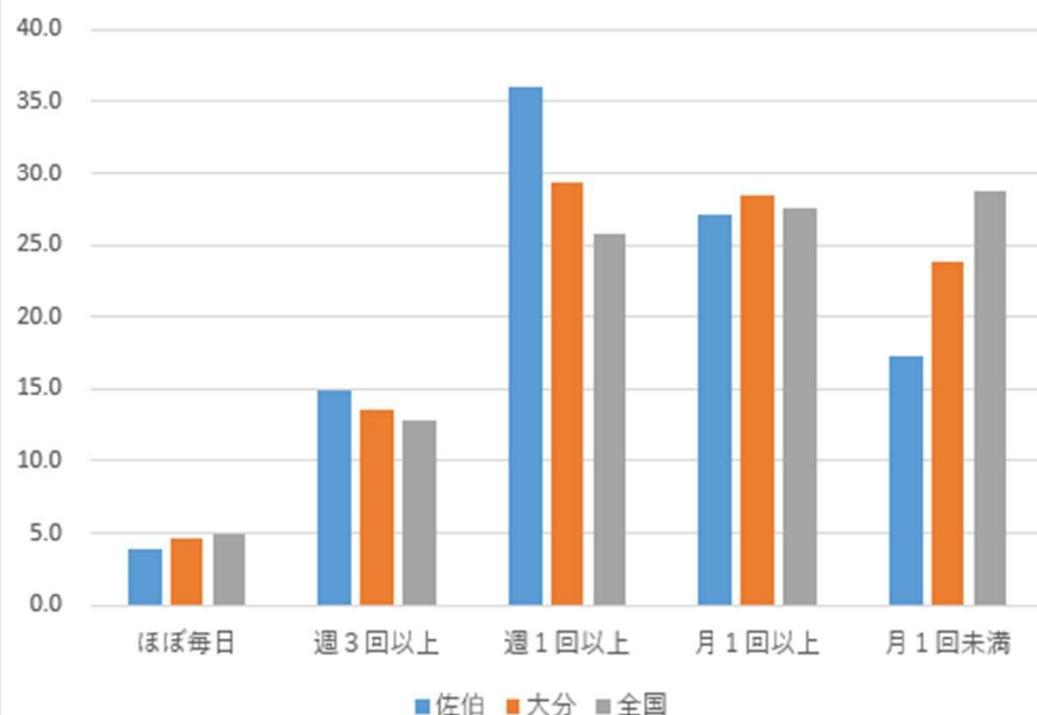
生徒質問紙

	佐伯	大分	全国
ほぼ毎日	3.9	4.6	5
週3回以上	14.9	13.5	12.8
週1回以上	36.1	29.4	25.7
月1回以上	27.1	28.4	27.6
月1回未満	17.3	23.9	28.7

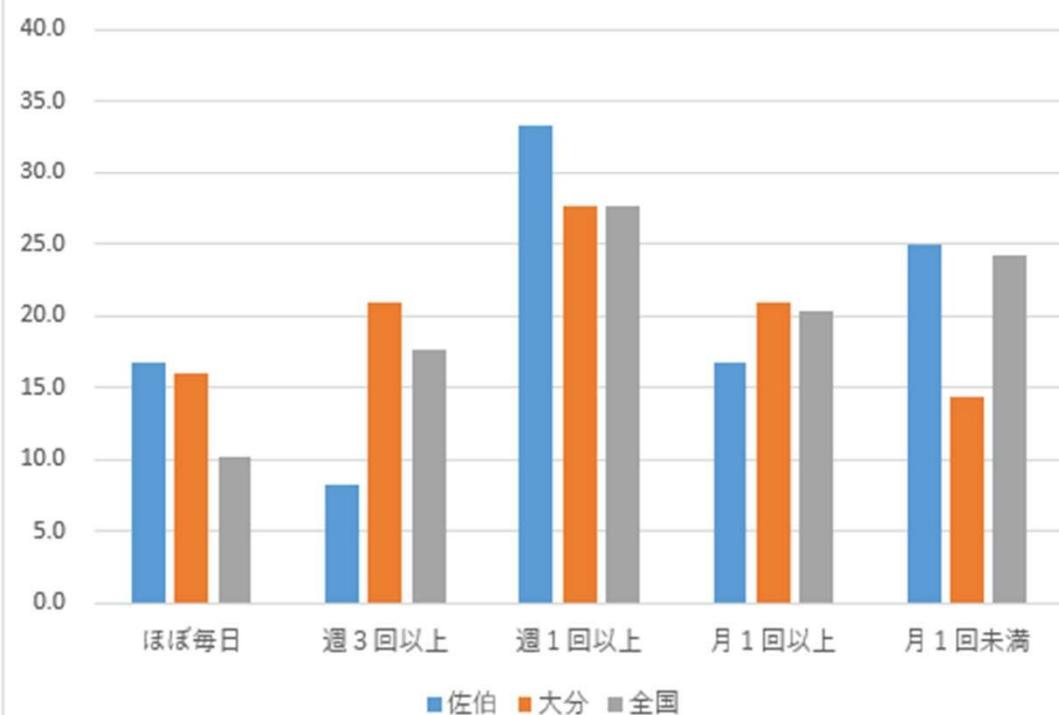
学校質問紙

	佐伯	大分	全国
ほぼ毎日	16.7	16	10.2
週3回以上	8.3	21	17.6
週1回以上	33.3	27.7	27.6
月1回以上	16.7	21	20.3
月1回未満	25.0	14.3	24.2

児童質問紙



学校質問紙



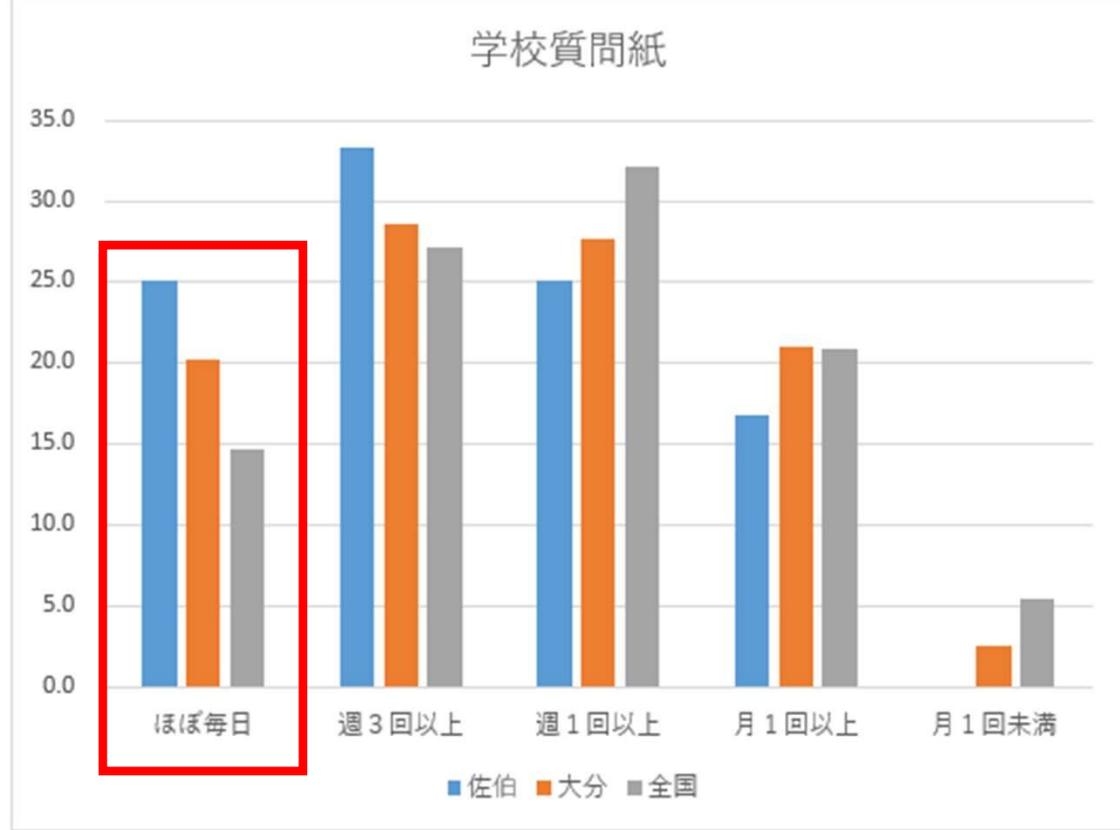
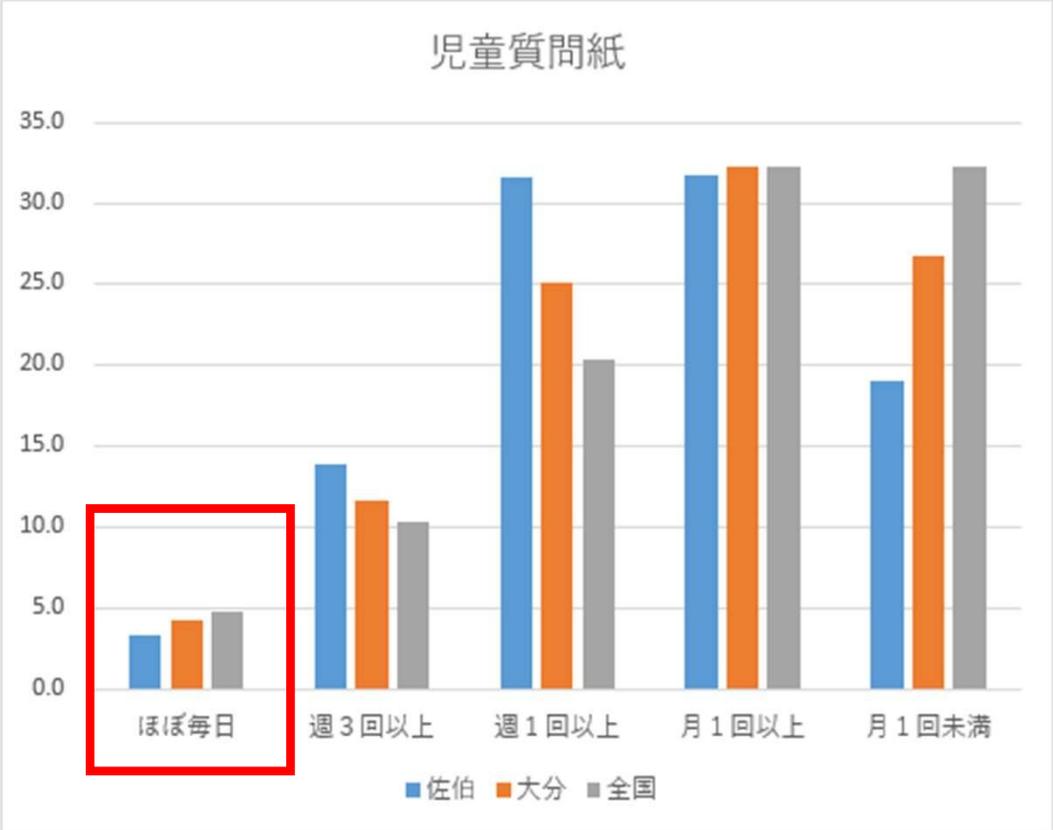
生徒 (35)	学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、P C・タブレットなどのI C T機器を、どの程度使っていますか
学校 (59)	調査対象学年の生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、生徒一人一人に配備されたP C・タブレットなどのI C T機器をどの程度使用させていますか

生徒質問紙

	佐伯	大分	全国
ほぼ毎日	3.3	4.2	4.7
週3回以上	13.9	11.6	10.3
週1回以上	31.6	25	20.3
月1回以上	31.8	32.3	32.3
月1回未満	19.0	26.7	32.3

学校質問紙

	佐伯	大分	全国
ほぼ毎日	25.0	20.2	14.6
週3回以上	33.3	28.6	27.1
週1回以上	25.0	27.7	32.1
月1回以上	16.7	21	20.8
月1回未満	0.0	2.5	5.4



(参考)

GIGAスクール構想のもとでの各教科等の指導について【概要】



各教科等の指導においてICTを活用する場合の基本的な考え方

新学習指導要領に基づき、資質・能力の三つの柱をバランスよく育成するため、子供や学校等の実態に応じ、各教科等の特質や学習過程を踏まえて、教材・教具や学習ツールの一つとしてICTを積極的に活用し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善につなげることが重要。

＜資質・能力の三つの柱＞

学びを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力、
人間性等の涵養

生きて働く知識及び
技能の習得

未知の状況にも対応
できる思考力、判断力、
表現力等の育成

各教科等の指導における1人1台活用事例

Point①

各教科等の特質に応じた活用事例を紹介

Point②

標準仕様に準拠しており、全国の学校において参考とすることが可能

国語

小学校・第2学年
国語科

【活用したソフトや機能】
学習支援ソフト、写真・動画撮影機能

伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫することができるよう指導する。

自分や友達の発表の練習を動画で撮影し、聞き手の立場に立ってそれを視聴し合うことで、伝えたい大事なところは特に大きな声でゆっくり話すなど、発表する立場からだけでは気付くことが難しい点について修正できる。



社会、地理歴史、公民

中学校・社会科

【活用したソフトや機能】
ウェブブラウザ（動画視聴、RESAS閲覧）

日本各地の地域的特色や地域の課題等について理解するとともに、中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察、表現することができるよう指導する。

信頼性の高い情報にアクセスして資料を収集したり、様々な主題図から情報を適切に読み取ったりする技能を身に付けることができる。また、ビッグデータを用いることで、課題解決に向けて有用な資料の収集が可能であることを理解することができる。



算数、数学

中学校・第1学年
数学科

【活用したソフトや機能】
学習支援ソフト（ファイルの転送・共有）等

ヒストグラムの必要性と意味を理解することができるよう指導する。

クラウドに保存したクラスの学習時間に関する図表データを基に、各自で分析と考察を行うようにする。階級幅の変更等、短時間でヒストグラムを作り替えることができることにより、試行錯誤して考察する時間を長く確保できる。



理科

小学校・第3学年
理科

【活用したソフトや機能】
写真撮影機能、プレゼンテーションソフト

物の形や体積に着目して、重さを比較しながら、物の性質を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能や主に差異点や共通点を基に問題を見いだす力、主体的に問題解決をしようとする態度を身に付けることができるよう指導する。

粘土の形を変える度に、その形を絵で描くのではなく、写真撮影し、その時の粘土の重さを記録することで、粘土の量に変化がないことを意識させやすくなることが期待できる。また、実験結果をクラウド上で共有することで、他の班の結果も確認して、「どの班でもそうになっているのか」という再現性の条件を容易に検討することができる。



図画工作、美術、芸術（美術、工芸、書道）

中学校・第2学年
美術

【活用したソフトや機能】
プレゼンテーションソフト等

形や色彩などの性質や全体のイメージで捉えることを理解し、用いる場面や環境、社会との関わりなどから主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた洗練された美しさなどを総合的に考えて表現の構想を練り、創造的に表し、デザインについての見方や感じ方を深めることができるようにするとともに、主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組む態度を養う。

プレゼンテーションソフトを使って、撮影、トリミングした画像を複製し、調和や美しさなどを総合的に考えて構成することにより、何度でもやり直しをしたり、取り込みや貼り付け、形の自由な変形、配置換えなど、様々に試したりすることができる。



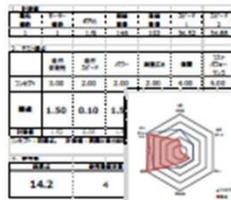
技術・家庭（技術分野）

中学校・第2学年
技術分野

【活用したソフトや機能】
表計算ソフト

課題の解決結果や解決過程を評価、改善及び修正する力や自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるよう改善・修正しようとする態度を身に付けることができるよう指導する。

部品数、乗車部の寸法、走行テストに要した時間等のデータを入力すると、利便性、安全性、経済性等の多様な視点の性能がレーダーチャートで表示されるシートを用いて、開発した自動車モデルを評価することで、問題解決の成果を実感したり、よりよいものとするための改善の視点に気付いたりすることができる。



体育、保健体育

小学校・第6学年 体育

【活用したソフトや機能】
学習支援ソフト（コメント機能）

ハードル走では、ハードルをリズムカルに走り越えること・自己の能力に適した課題の解決の仕方、競争や記録への挑戦の仕方を工夫することを目指す。

ハードル走の記録を折れ線グラフとして表示することで、自己の変容を視覚的に捉えることができる。また、合わせて目標記録も表示することで、目標記録との差も視覚的に捉えることができる。



音楽、芸術（音楽）

小学校・第4学年 音楽

【活用したソフトや機能】
scratch（プログラミングソフト）

我が国の音楽の旋律や音階などの特徴に気付くとともに、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けながら、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得ることができるようにし、我が国の音楽に親しむことができるよう指導する。

プログラミングソフト「scratch」のプロジェクトを用い、まずカードを並べてリズムをつかった後、つくったリズムに合わせて「ミソドレ」の5音階から音を選んで試しながら、即興的に音を組み合わせることで旋律をつくる。



家庭、技術・家庭（家庭分野）

中学校・第3学年
家庭分野

【活用したソフトや機能】
写真撮影機能、ファイル共有

幼児の生活と家族について、課題をもって、幼児の発達と生活、幼児との関わり方に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、それを支える家族の役割や遊びの意義について理解し、幼児との関わり方を工夫することができるよう指導する。

幼児と触れ合う様子を互いに撮影し合い、実際には見ることができない自分の様子（表情、声、目線等）を保存することで、幼児との関わり方についての自己評価や改善に生かすことができる。



外国語・外国語活動

中学校・第3学年 外国語

【活用したソフトや機能】
学習支援ソフト（コメント機能）

ALTの家族が来日するにあたって、自分たちの町の魅力が伝わるように、家族一人一人の好みなどを踏まえた町の紹介文を書くことができることを目指す。

入力された紹介文を生徒同士で読み合い、感想、内容面と言語面からのアドバイスをコメント機能でやり取りする。それにより紹介文の内容を積極的に確認し合ったり、返信を書くために文章の書き方や表現等を仲間に尋ねたりするなど、「読むこと」や「書くこと」の言語活動への必然性を持たせることができる。



情報

高等学校・第2学年 情報

【活用したソフトや機能】
学習支援ソフト、共有ノートブック

創造力を発揮してチームでテーマに基づいたWebサイトを企画・制作する活動を通して情報活用能力やチームで働く力を、情報の収集・整理・分析・統合・発信の活動を活動そのものや作品の改善につなげることを通して問題発見・解決能力を育成することを目指す。

生徒のうち、ライターやデザイナーが調べたことや、プロジェクトマネージャーが取りまとめた企画書等を学習支援ソフトで共有することで、共有した情報を基に意見交換を行いながら、改善を繰り返す、学習の質を高める活動を効率よく行うことができる。



生活

小学校・第2学年 生活

【活用したソフトや機能】
学習支援ソフト、共有ノートブック

野菜を育てる活動を通して、育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって栽培することができ、野菜が成長していることに気付くとともに、おいしい野菜を収穫しようとすることを目指す。

野菜を栽培する中で発見したことや成長の様子を、静止画で記録・保存・蓄積することで、野菜の成長を振り返る際に、児童自身が記録した静止画を時系列で並べることで、変化や成長の様子に気付くことができる。

また、それらの静止画をきっかけにして、土が乾いていたので水やりしたことや、実が付いたので追肥したことなどの自分との関わりについても気付くことができる。



特別活動

小学校・特別活動

【活用したソフトや機能】
写真・動画撮影機能、デジタルホワイトボードソフト（思考ツール機能）

自分の考えを広げたり、多様な意見のよさを生かして話し合ったりして、よりよく合意形成や意思決定して実践し、主体的に学級・学校生活や人間関係をつくり、なりたい自分に向け努力できるようにする。

一人一人が自分の考えをタブレット端末に記入し、グループでアドバイスし合ったり、大型黒板を活用して学級全体で共有して話し合ったりして考えを広げ、多様な意見のよさを生かして合意形成したり、自分に合った解決方法を決めたりすることができる。

ウェブ会議ソフトを活用し、児童会（生徒会）集会活動を体育館から各教室に中継したり、インタビューを行ったりして、下学年も主体的に活動に取り組むことができる。



特別の教科 道徳

小学校・第3学年
特別の教科 道徳

【活用したソフトや機能】
学習支援ソフト（ファイル共有機能）等

自分の考えを示すとともに、友達の考えを知り、比較して話し合いながら、自分の考えをより確かなものにすることを目指す。

教師が事前に作成したデジタルスライドの座標軸に言葉を入れて児童のICT端末に送り、一人一人の児童は、座標軸上の自分の考えにあてはまる場所に好きなマークを書き加える。その後、一人一人の児童はマークを入れたデジタルスライドを学習支援ソフトのファイル共有機能を使って共有することにより、それぞれの考えを知ることができる。



総合的な学習（探究）の時間

小学校・第6学年
総合的な学習の時間

【活用したソフトや機能】
ウェブ会議ソフト、学習支援ソフト（アンケート機能）等

海・山・川の自然を生かして生産される特産品を生かした町づくりが進められていることから、それらの食材を使って、「ふるさと駅弁」を作り、そのPR内容や方法を考え発信することで、地域の活性化に取り組もうとすることを目指す。

ウェブ会議ソフトを活用し、市観光課や広報課の職員と話し合い、ふるさと駅弁を市のホームページで紹介するための手順や決まり事を聞いたり、PRしたい内容が明確になっているホームページとなっているのかを助言してもらったりする。

また、アンケート機能の活用により、発信した情報に対する返信や反応を基に改善したり発展させたりすることができる。



スタディーエックス スタイル

StuDX Style

GIGAスクール構想を浸透させ 学びを豊かに変革していくカタチ



各教科等における
1人1台端末の活用

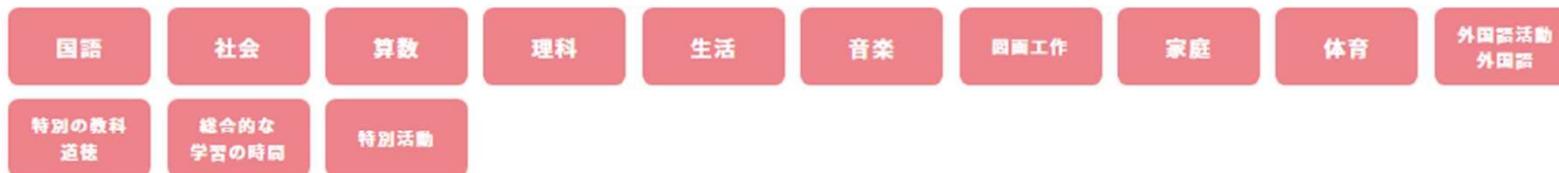
慣れる
つながる
活用

各教科等
での活用

STEAM教育等の
教科等横断的な
学習

概要資料

小学校



中学校



GIGAスクール構想の実現に向けて

- 2022年7月25日更新 [ICTを効果的に活用した学びの推進に向けて](#)
- 2021年12月7日更新 [ICTを活用した実践のご紹介](#)
- 2021年5月14日更新 [ICT教育活用で参考になる資料・ページのご紹介](#)
- 2021年5月14日更新 [教育活動でのICT活用（遠隔会議アプリ等を活用したオンライン授業等）](#)

情報モラル教育

- 2022年4月21日更新 [情報モラル教育 ～授業に役立つ動画、資料等のご紹介～](#)
- 2022年1月19日更新 [情報モラル動画教材（動画・大分県教育デジタル改革室発行）](#)



<https://www.pref.oita.jp/soshiki/31070/>

GIGAスクール構想の推進

- 2022年3月28日更新 [未来を創るGIGAスクール推進事業](#)
- 2022年2月10日更新 [遠隔教育の取組](#)
- 2022年1月7日更新 [フロンティア校の取組](#)

【新学習指導要領等に関する情報】

- 2021年9月16日更新 [「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する説明資料（県教育委員会）※R3.9.16更新](#)



<https://www.pref.oita.jp/soshiki/31810/>